

Hello, from  
Around the World

# ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ウィルソン・リー先生  
(オーストラリア ヴィクトリア州)

本庁舎学校教育課 内2365

## 英語は楽しく！自信を持って！

みなさんこんにちは。前回に引き続きリーです。

私は白二中、みさか小で授業を担当しています。元気な白河の子どもたちと、休み時間にドッジボールや縄跳び、折り紙で遊ぶことがとても楽しいです。中学校では、英語の掲示板を生徒と一緒に作ったり、部活動に顔を出して交流したりします。

英語の授業では、2つの大事なポイントがあります。1つ目は、英語を楽しいと思うことです。すこしくゲームを取り入れた手作りの教材などを使って、楽しくできるように工夫しています。

2つ目は、もっと自信を持つことです。2人組の会話練習では話

せるのに、みんなの前だと発表ができない場合があります。完璧ではなくても、たくさん英語を使った方が上手になります。恥ずかしがらずに、楽しく話しましょう！



▲みさか小での授業の様子

英語で一言！  
Practice makes perfect.

「練習が完全をもちらす」  
(習うより、慣れよ)

## シリーズで学ぶ

# 白河歴史人物伝

Vol.16

定信に仕え、全国を旅した画僧

## 白雲

(1764～1825)

白雲の生地はよく分かっていませんが、10代の頃に須賀川の十念寺に入門し、26歳で同寺の住職となりました。30代のとき、白河藩主松平定信に見いだされて谷文晁に学び、画僧（絵を得意とする僧）の道歩み始めます。

### 《集古十種》と旅

定信はこのころ、全国の古文化財の図録である『集古十種』の編さんに取り組んでおり、多くの絵師や学者に全国を調査させていました。白雲も、寛政9年（1797）、定信の命により、絵師の喜多武清らとともに南関東の調査に携わります。その後すぐに白河藩絵師の大野泉祐らと関西から下関にいたる西日本各地の調査を行っています。これらの成果が『集古十種』編さんにいかされました。

また白雲は、旅先の風景を多く絵にとどめています。例えば、『集古十種』調査の旅路である中山道、山陽道を初め、奥州街道などの道々の風景を写生したり、富士山に登山し、山頂の様子を写生しています。白河藩領内についても、定信が好んだツツジの名勝地・河内（西郷村）や、小峰城周辺を描いたものが現存しています。その描写はたくみで、師である文晁の画技をよく習得しています。

### 《晩年》

白雲47歳となった文化7年（1810）、現在の秋田県内にある本覚寺へ移り、住職となります。晩年も絵を描き続け、文政8年（1825）に62歳で亡くなりました。



上図・富嶽図（公財）藤田教育振興会蔵

下図・白川城下図（広島県立歴史博物館蔵）小峰城周辺を描いた摺物です。白雲が住んだ東林寺も見えます。（国指定重要文化財・菅茶山関係資料）

文化財課 ☎ 2310